

女性たちが語る震災と復興 —岩手県沿岸地域からの報告—

東日本大震災以降とくに、災害支援や復興過程、防災の取り組みにジェンダーの視点を導入することの重要性が訴えられ、政策にも反映されるようになった一方で、地域による取り組みの格差など、さまざまな課題も指摘されています。

東日本大震災から10年が経過した今、被災地域で生活してきた女性たちの声にあらためて耳を傾け、多様な立場で経験された震災と復興過程を知るとともに、災害からの復興とジェンダーについてシンポジウム形式で考えてみたいと思います。

日時:10月1日(金)16時30分開始

会場:オンライン(Zoom) 参加無料 要事前登録

*どなたでもご参加いただけます。下記よりお申し込みください。

<https://peatix.com/event/2920400>

報告:

「重茂の女性たちの10年 —震災からの復興と地域再生に向けた奮闘」

盛合敏子氏(岩手県漁協女性部連絡協議会会長、岩手県重茂漁協女性部部長)

「『津波をくつがえす』おなごたち —歴史に学ぶ女性と復興」

植田朱美氏(女性史研究者、「地域女性史研究会」会員)

コメンテーター:

村田晶子(本学ジェンダー研究所所長・文学部教授)

司会: 松前もゆる(本学文化構想学部教授)

問い合わせ先:gender_studies@list.waseda.jp